

インフルエンザの流行について

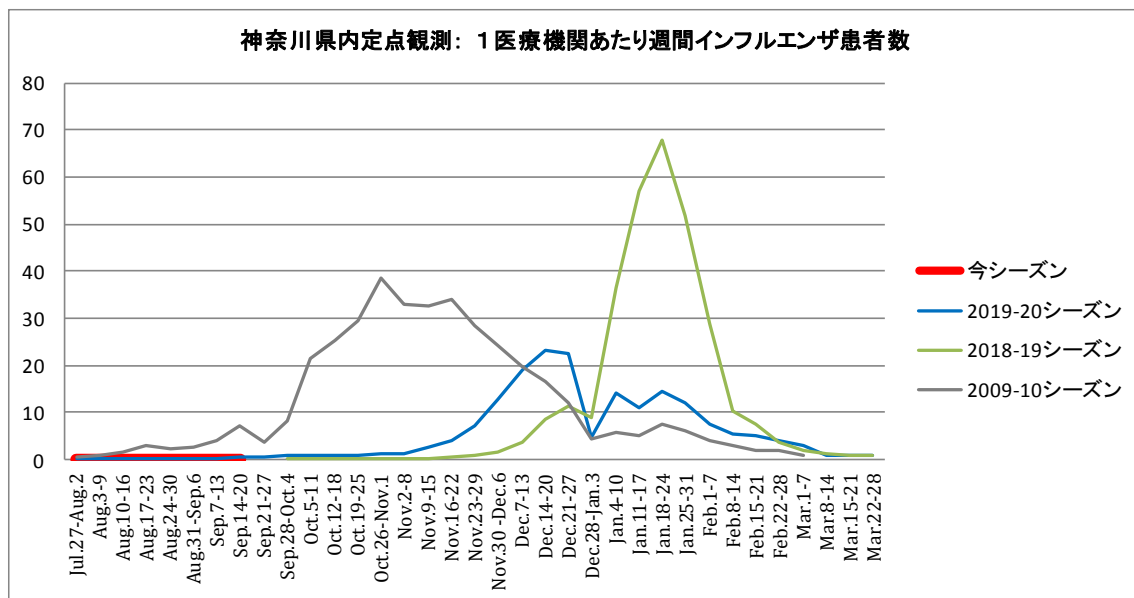
2020年 10月 6日

インフルエンザの流行は例年12月初旬から2月下旬にかけてです(ピークは1月中旬～下旬)。一昨年のシーズン(2018-19シーズン, 下図: 緑のライン)は、その典型的なパターンを示しています。

昨シーズン(2019-20シーズン, 下図: 青のライン)は、12月にピークを迎えた特殊な流行パターンで、感染者数も例年より少なめとなりました。

特殊な流行パターンとしては、2009-10シーズン(下図: 灰色のライン)があげられます。2009年は、新型インフルエンザ(H1N1)が流行した年です。その年の5月に日本に上陸した新型インフルエンザは、8月から流行が拡大しましたが、10月末ごろピークアウトし、年明け以降は、目立った流行はありませんでした。その後、季節性(≒通常)のインフルエンザとなっています。

コロナ禍の今年、**まだインフルエンザの発生報告はほとんどありませんが**、今後の流行状況を注視していく必要があります。



(図: 国立感染症研究所提供データより作成)

●インフルエンザとは

非常に感染力が強いウイルスです。急に出現する発熱、悪寒を特徴とし、頭痛、咽頭痛、筋肉痛、咳、鼻汁などの諸症状をもたらします。感染経路は飛沫感染や接触感染が主です。

●感染してしまったら

- 1.上記のような症状が見られたら、**症状のある期間は登校・出勤せず**、症状がひどい場合は、自宅近くの病院を受診してください。
- 2.症状が軽快したのちも、2日間は登校・出勤を控えて下さい。

学校保健安全法施行規則（平成24年4月1日省令施行）に定めるインフルエンザの出席停止の期間は、**発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで**、となっています。

●感染を予防するには

- 1.食事の前、外出後には、**石けんと流水でよく手を洗ってください**。
- 2.部屋の換気をこまめに行うようにしましょう。
- 3.部屋の湿度は、加湿器などで50～60%に保つと良いでしょう。